



上田高等学校関東同窓会 第60回総会・講演会

2021年6月26日（土）於：如水会館



或るカノンー想いを抱いて（2020年日展作品）

作者：堀内秀雄（73期） 東京成徳短期大学教授。日展会員、日本彫刻会会員、
白日会・千葉県美術会常任理事

上田高等学校関東同窓会 執行部・総会実行委員会

第60回 総会・講演会 次第

第1部 総会

13:30~14:15

開会の辞		司会	石坂 敦子 (73期)
会長挨拶		会長	近藤 正昭 (69期)
来賓紹介		司会	
議長選出		司会	
議事		議長	73期から選出
第1号議案	2020年度会務報告(案)	幹事長	関 博明 (72期)
第2号議案	2020年度決算報告(案)	会計長	関 雄二 (72期)
第3号議案	2020年度監査報告	監事	原田 義則 (65期)
	審議・採決		
第4号議案	2021年度会務計画(案)	幹事長	
第5号議案	2021年度予算(案)	会計長	
	審議・採決		
議事終了		議長	
来賓挨拶			
閉会の辞		司会	

— 休憩 —

第2部 講演会

14:30~15:30

開会の辞		副実行委員長	渡邊 博 (78期)
挨拶		実行委員長	掛川 治男 (73期)
講演者紹介		副実行委員長	
講演		講演者	関 良基 (86期)
	「日本近代化の魁 赤松小三郎と松平忠固」		
第61回総会実行期挨拶			荻原 久俊 (74期)
閉会の辞		副実行委員長	

第60回総会 議案書

第1号議案：2020年度会務報告（案）（2020年4月1日～2021年3月31日）

1. 全 般

新役員体制でスタートしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、予定していたイベントの内容変更を余儀なくされた一年だった。その中で、遠隔からの会議参加（以下リモート参加と記す）による新しい会議スタイルを構築できた。

2. 第59回総会・懇親会

コロナ禍のため紙面による総会決議を行った。議決参加者は358名。全議題が承認された。

3. 2021年新年会

1月16日（土）に日本教育会館で開催した。懇親会は中止とし、丸山清光氏（70期）講演会のみとなった。65名が参加した。その内、46名はリモートによる参加者。

4. 諸活動

1) 母校の課題研究入門講座へ講師を推薦した。入学式、卒業式は来賓無しのため欠席した。

2) 本部、支部同窓会との交流は、関西同窓会総会に会長がリモート参加した以外は、予定されていた行事が中止のため欠席した。

3) 幹事会は、4月、10月、1月に開催。10月の幹事会よりリモート参加も可能とした。

4) 委員会活動の推進

- ・新体制になり、3委員会を増設した。各委員会には、役員全員が参画する形態をとった。
- ・IT推進委員会は、会議のリモート参加を可能とするための機器等を導入した。
- ・会務運営委員会では、役員会・幹事会の出欠管理を「らくらく連絡網」活用により効率化した。また、本部との定期的な情報交換（会員情報等）を開始した。
- ・ゴルフコンペは、4月と11月に新型コロナウイルス感染防止に配慮し小規模で開催した。
- ・女性同窓生の会、赤松小三郎研究会の講演会は延期とした。

5. 会報

5月下旬に100号、12月下旬に101号を発行。101号より、新企画として「班OB・OG会の紹介」をスタートさせた。

6. 収支決算

1) 年会費は、総会時の現金納入は無かったが、振込での納付が増え、また納付キャンペーンを69期、71～82期と例年より対象期を広げて実施した結果、予算を約5万円上回った。

2) 寄付金は、総会が中止となったこと等の為、大幅に下回った。広告料は予算を8万円上回った。

3) 支出については、大きなイベント費用や本部・支部派遣費用他が少なかったこともあり、単年度収支決算では約9万円の黒字となった。

7. 基金活用事業

30万円の繰入予算に対し、年会費納付促進時郵送代等の費用として約8万円を使用した。

第2号議案：2020年度決算報告（案）（2020年4月1日～2021年3月31日）

<一般会計>

単位：円

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差額	科目	予算	決算	差額
前期繰越金	2,207,991	2,207,991	0	総会費	59,000	59,000	0
				会報費	2,400,000	2,484,639	84,639
総会費収入	0	100,000	100,000	交通費	270,000	28,930	-241,070
会報広告料	900,000	980,000	80,000	通信費	100,000	46,460	-53,540
年会費収入	2,600,000	2,654,000	54,000	会議費	630,000	500,593	-129,407
会議費収入	600,000	114,000	-486,000	渉外費	200,000	73,646	-126,354
寄付金収入	600,000	463,000	-137,000	印刷費	80,000	38,855	-41,145
雑収入	0	0	0	事務費	800,000	743,258	-56,742
受取利息収入	0	11	11	雑費	80,000	108,387	28,387
基金より繰入	300,000	80,734	-219,266	委員会推進費	81,000	136,299	55,299
				基金活用事業費	300,000	80,734	-219,266
(小計)	5,000,000	4,391,745	-608,255	(小計)	5,000,000	4,300,801	-699,199
				次期繰越金	2,207,991	2,298,935	90,944
合計	7,207,991	6,599,736	-608,255	合計	7,207,991	6,599,736	-608,255

<運営基金>

単位：円

科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	10,266,838	0	79,804	10,187,034
同利息	0	930	930	0
合計	10,266,838	930	80,734	10,187,034

<運営基金・一般会計総括表> 2021年3月31日現在

単位：円

科目	金額	科目	金額
定期預金(スーパー定期)	9,887,034	運営基金	10,187,034
普通預金	300,000		
郵便振替口座	940,149	次期繰越金	2,298,935
普通預金(幹事長口座)	264,231		
普通預金(会計長口座)	1,094,555		
合計	12,485,969		12,485,969

定期預金/普通預金：みずほ銀行 兜町支店、郵便振替口座：日本橋郵便局

普通預金：ゆうちょ銀行 〇一八店、普通預金 auじぶん銀行 あお支店

- ・2020年度の単年度収支差は91千円の黒字となった。
- ・総会では中止となったが、本部からの定例として振り込みいただいた祝儀を総会収入とした。
- ・年会費は、郵便振替で多くの会員が納入していただき予算及び前年を上回った。
- ・委員会推進費は、IT推進委員会のオンライン会議システム関連機器購入費用等。

第3号議案：2020年度監査報告（2020年4月1日～2021年3月31日）

2020年度決算報告を詳細に監査した結果、適正且つ正確であることを認める。

2021年4月12日

監事 原田 義則(65期)、堤 達(67期)

第4号議案：2021年度会務計画（案）（2021年4月1日～2022年3月31日）

1. 第60回総会・講演会

2021年6月26日（土）、如水会館にて開催。コロナ禍のため懇親会は中止。

開始を13時30分とし、リモート参加も可能とする。

実行委員は、73期を中心に、78, 83, 93期が担当。

講演会は、関良基氏（86期）。

2. 2022年新年会

1月22日（土）日本教育会館にて開催予定。

3. 諸活動

1) IT推進委員会：リモート聴講の映像・音質向上、リモート参加者の議論参加等の改善。

2) 会員増強促進委員会：90期代、100期代の代表幹事の発掘強化。

3) 新企画として日帰り小旅行を、9月（柴又散策）と12月（相撲部屋見学）に実施予定。

4) ゴルフコンペは4月と11月開催予定。

5) 昨年延期の女性同窓生の会は10月、赤松小三郎研究会主催の講演会は11月実施予定。

4. 会報

5月下旬に102号、12月下旬に103号を発行予定。

5. 基金活用事業

今年度は30万円を繰入れ、年会費納付促進、若手会員の組織化支援を予定。

6. 母校・本部等との交流

母校の課題研究入門講座への講師派遣、本部会員大会や各支部総会への出席。

7. 他団体との交流

長野県高校同窓会東京連合会や東信同窓連の円滑な運営協力と情報交換。

第5号議案：2021年度予算（案）（2021年4月1日～2022年3月31日）

<一般会計>

単位：円

収入の部			
科目	2021年度予算	2020年度決算	増減
前期繰越金	2,298,935	2,207,991	-90,944
総会費収入	100,000	100,000	0
会報広告料	900,000	980,000	80,000
年会費収入	2,650,000	2,654,000	4,000
会議費収入	600,000	114,000	-486,000
寄付金収入	420,000	463,000	43,000
雑収入	0	0	0
受取利息収入	0	11	11
基金より繰入	300,000	80,734	-219,266
(小計)	4,970,000	4,391,745	-578,255
合計	7,268,935	6,599,736	-669,199

支出の部			
科目	2021年度予算	2020年度決算	増減
総会費	300,000	59,000	-241,000
会報費	2,500,000	2,484,639	-15,361
交通費	100,000	28,930	-71,070
通信費	50,000	46,460	-3,540
会議費	700,000	500,593	-199,407
渉外費	70,000	73,646	3,646
印刷費	40,000	38,855	-1,145
事務費	750,000	743,258	-6,742
雑費	110,000	108,387	-1,613
委員会推進費	50,000	136,299	86,299
基金活用事業費	300,000	80,734	-219,266
(小計)	4,970,000	4,300,801	-669,199
次期繰越金	2,298,935	2,298,935	0
合計	7,268,935	6,599,736	-669,199

<運営基金>

単位:円

科目	前期繰越	当期収入	当期支出	期末残高
運営基金	10,187,034	0	299,850	9,887,184
同利息	0	150	150	0
合計	10,187,034	150	300,000	9,887,184

2021年度予算の基本的考え方

- 【収入】
- 総会費：総会会費は無しとするが、本部からの祝儀を見込む
 - 広告費：102号は560千円の見込みながら103号は前年並み340千円とする
 - 年会費：前年実績並みとする
 - 会議費：新年会ありとした見込みとする
 - 寄付金：免除期会員を含め寄付を呼びかけるが、総会での寄付は見込めない為前年並みとする
 - 基金繰入：上限の300千円とする
- 【支出】
- 総会費：如水会館の会場代等を見込む
 - 会報費：前年同額を見込む
 - 会議費：新年会ありとした見込みとする
 - 交通費：秋以降コロナ終息とした見込みとする
 - 通信費、渉外費、印刷費、事務費、雑費：前年同額とする
 - 基金活用事業費：年会費納付促進、若手会員組織化支援等の見込みとする

上田高等学校関東同窓会 代表幹事一覧

＜ 2021年4月21日現在 ＞

(※は2019～2020年度に交代または新任の代表幹事)

45期	山邊 力	68期	土屋耕 太郎	83期	竹内 延彦
46期	丸山 浩一	69期	小泉 薫 ※	〃	尾添 静子
50期	児玉 忠雄	〃	三塚 隆 ※	〃	五十嵐 恵子
〃	五十嵐 明迪	〃	依田 隆文 ※	84期	長尾 健
		70期	丸山 清光	85期	小須田 武志
52期	柴田 正人	〃	佐藤 秀紀	〃	横関 正人
53期	須田 武久	71期	小林 清隆	86期	吉池 有司 ※
54期	倉島 彰	72期	関 博明	87期	永井 博
〃	藤村 延魚	〃	関 雄二	〃	西澤 信司
55期	宮島 光男	〃	渡邊 温子	88期	高星 音楽
56期	小平 節夫	73期	掛川 治男	〃	戸堀 真澄
57期	田沢 雄二郎	74期	土屋 三千夫	89期	小林 幸治
58期	北村 尚巳	〃	林 幸平 ※		
59期	櫻井 資悦	75期	一之瀬 康利		
〃	有賀 勝雄	〃	平林 一央 ※	92期	小山 勇
60期	鷹野 芳機	〃	大工原 潤		
61期	三井 文人	76期	永島 精二		
〃	沓掛 忠	〃	鴫澤 省一	95期	小宮山 和匡
62期	岩井 重一	〃	金井 一正		
〃	栗山 正雄	77期	丸山 剛生	97期	依田 久美子
〃	諸岡 健児 ※	〃	佐藤 一男	〃	石森 博行
63期	川村 恭司	78期	渡邊 博	98期	宮沢征 史郎
〃	藤川 昇	79期	荻原 貴	99期	中嶋 豪
〃	大塚 和宏	〃	戸田 由香	〃	矢島 好太郎
64期	小松 正佳	80期	長谷川 剛	〃	永井 洋平 ※
〃	村居 次雄	〃	曾田 信子	100期	矢島 志織 ※
65期	上原 昇	〃	櫻井 規喜		
〃	丸山 暢久	81期	服部 みどり		
〃	宮原 豊	〃	毛利 元晶	103期	大谷 真宙
66期	塩野崎 英二	〃	横関 正人	〃	竹村 淳一
〃	大倉 洋一	82期	重藤 知夫	104期	有賀 剛 ※
〃	田口 博	〃	古谷 由美子	〃	石川 翔太 ※
67期	渡邊 信幸	〃	清水 るりこ	〃	高山 大蔵 ※

お願い： 代表幹事未選出の期は、代表幹事を選んでいただき、幹事長まで連絡をお願いします。

講演会の案内

演題：「日本近代化の魁（さきがけ） 赤松小三郎と松平忠固」

講師：関良基さん（86期）

幕末から日本の近代化に果たした上田藩の役割は非常に大きかったのですが、これまで十分に研究されてきませんでした。維新前に日本初の議会制民主主義の憲法構想を建白した赤松小三郎、老中として開国を断行し生糸輸出を振興した上田藩主の松平忠固の活躍について、最新の研究成果とともに報告します。

講師プロフィール



上田市出身。京都大学農学部林学科卒業、同大学院農学研究科博士課程修了。現在は拓殖大学教授。専門は森林の保全・治水の研究。2013年、上田高校関東同窓会内に赤松小三郎研究会が発足したのを契機に、赤松小三郎や松平忠固の研究も開始。日本の近代化の過程で上田が果たした役割の重要性について研究を深めている。

上田高等学校 校歌・応援歌

校歌

上田中学国漢科作詞
岡野貞一作曲

1. 秋玲瓏の空衝きて
ゆふべ太郎の嶺高し
春縹渺の末けむる
あした千曲の水長し
2. 関八州の精鋭を
ここに挫きし英雄の
義心のあとは今もなほ
松尾が丘の花と咲く
3. 古城の門をいで入りて
不動の心山に見る
我に至高の望あり
挙世の浮華に迷はむや
4. とうとき靈血に承けて
不断の訓川に汲む
我に至剛の誇りあり
いざ百難に試みむ

応援歌 No. 3

町田太郎作詞作曲

1. 伝統の花れうらんと
松尾が丘は時じくの
春を誇れりいざやいざ
凱歌を挙げて地軸をうたん
上田、上田、上田、上田
勝利の上田
2. ああ堂々の陣を張る
信濃の勇者我が上田
打てよ走れよ虹を呼べ
真田の血潮伝統に燃ゆ
上田、上田、上田、上田
勝利の上田

凱歌

吉村武生作詞

1. 夕陽千曲の水の面に
映えたる血潮輝きて
躍るや絶えぬ歓びの
流れにひびく陣太の音
聞けや胸血のたぎる聲
誉のかぶと我得たり
2. 黙示の色に溢れたる
浅間の峰の空高く
五色の旗のたなびきて
夕陽の四方を覆ふとき
見ずや誉のこの旗を
永く我が手に保たなむ